

教科・分野		週時間数	クラス	担当者	
音楽 I		1	A B C D E	大谷	
目標		①幅広い音楽活動を通じて、芸術音楽の美しさを感じ取ること。 ②視唱力、視奏力を磨き、曲想をとらえた表現力を身につけること。 ③音楽の組み立て方を学び、創作活動に生かすこと。 ④伝統音楽、世界の諸民族の音楽を鑑賞し、その特徴をまとめること。			
大切に育てたいもの		関心・意欲・態度	感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
		芸術音楽を聴いたり、演奏したりすることの楽しさ	曲の校正や、歌詞の内容を踏まえた表現力	越えや楽器の特性を理解し、曲想を豊かに表現できる技能	楽曲の歴史的背景に基づいた鑑賞をする能力
学期	考查	学習内容		学習のねらい	
一学期	期末	【発声基本練習】 呼吸法の練習 【楽典の学習】 音階、音程、音楽用語 【記譜法の習得】 かえるのうた、メリーさんの羊 【歌唱教材】 「Caro mio ben」 「Vaga luna, che inargenti」		・腹式呼吸法を身につけ、豊かに表現できる発声法について学びます。 ・高校 1 年生で学んだ楽典の知識を更に発展させ、歌唱や演奏に役立つ知識を深めます。 ・自分で記譜をすることで楽譜に慣れ、読譜を容易にすることで表現の幅を広げます。 ・イタリア語の歌曲を学び、言語の違いに適した表現方法を学びます。	
二学期	期末	【鑑賞教材】 「沖縄の音楽」 「北海道の音楽」 【合唱】 「夢見たものは」		・研修旅行の事前準備として、現地の楽曲などに取り組み、各地の音楽の特徴をまとめます。 ・合唱を作り上げ、発表し、評価し合うことでさらに音楽の表現の幅を磨きます。	
三学期	期末	【箏曲実技実習】 「六段」「春の海」 【音楽史】 【聴音】		・ゲストティーチャーの箏曲指導を通じ、箏の発展的な演奏方法を学びます。 ・音楽の成り立ちについて、学び、理解を深めます。 ・リズムや音程を感じながら寄付の能力を高めます。	
評価の方法		定期テスト、実技テスト、授業態度、提出物で評価します。			
授業の形態		音楽選択者による一斉授業、グループ練習、実技実習			
使用教科書		MOUSA①(教育芸術社)			
用意するもの		教科書、配布されたプリント、五線ノート			